

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----|------------|
| ○事業所名 | 子ども支援室みらい花立教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年2月4日 | | 令和8年2月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 27名 | (回答者数) 18名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年2月4日 | | 令和8年2月28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 中学生・高校生に特化した活動プログラムを実施している。年齢に応じた内容の支援ができること。同年代の人たちと活動を通して関わりの経験ができること。 | ソーシャルスキルトレーニングを実施し、適切な関わり方とそうでない関わり方を比較することで、適切な関わり方や行動の仕方について教示している。適切な行動の練習ができるようにロールプレイの時間も設けている。 | 学校や社会生活など身近な場面で学んだことが活かせるよう具体例を挙げながら説明し、一般化を意識した支援を行う。 |
| 2 | 就労や進学を見据えた支援の提供を行っていること。 | 就労や進学を見据え、職場実習の振り返り支援や面接練習、受検対策課題などを通してできることを増やしたり自信に繋がるように支援している。就労パスポート作成のサポートも行っている。 | 就労や進学など進路選択に向けて、自己理解も深めていけるように支援していく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|-----------------------|
| 1 | 地域交流の機会が殆どないこと。 | 職員は地域の自治会の方と関わる機会もあり地域行事へのお誘いもいただいているが、自治会行事が日曜日に行われており日曜日は事業所の開所日でない為、交流することができない。 | 地域の方との交流ができる機会を作っていく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|---------------|
| 事業所名 | 子ども支援室みらい花立教室 |
|------|---------------|

公表日 令和8年3月27日

利用児童数 27名

回収数 19名

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|--------------------------------|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 18 | 1 | | | ・中学生以上が集まると狭いのではない かともあります。 | ご意見ありがとうございます。限られた スペースの中ではありますが、活動を分 けるなどして対応して参ります。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 19 | | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 18 | 1 | | | | スケジュールや活動場所の視覚化を継続し、 子どもが見通しを持って安心して活動できる 環境づくりを行ってまいります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 18 | 1 | | | | 内容に応じた環境設定を行うことで、安 心して過ごせる空間づくりに努めてまい ります。 |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。 | 18 | 1 | | | | 多職種連携を活かし、子どもの特性に応 じた専門的な支援の質の向上に努めてま いります。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。 | 18 | 1 | | | | 公表している支援プログラムと実際の支援内 容が一致するよう、定期的な見直しと職員間 での共有を徹底してまいります。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。 | 18 | 1 | | | | 保護者との面談やアセスメントを丁寧に行 い、ニーズや課題を踏まえた個別支援計画の 作成・見直しを継続してまいります。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。 | 18 | 1 | | | | ガイドラインに基づき、「本人支援・家 族支援・移行支援」をバランスよく取り 入れた支援内容の充実にも努めてまいり ます。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 18 | 1 | | | | 個別支援計画に基づき、職員間で支援内 容の共有を行いながら、継続的で一貫し た支援の提供に努めてまいります。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。 | 18 | | | 1 | | 子ども一人ひとりの発達段階や興味関心 に応じた活動を取り入れております。今 後も新たな活動や社会体験の機会を取り 入れていきます。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。 | 8 | 3 | 4 | 4 | | 今後は児童館や地域イベントへの参加、外出 活動等を計画的に取り入れ、地域の子もた ちとの関わりの機会を増やしてまいります。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。 | 19 | | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。 | 19 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。 | 18 | 1 | | | | 4回/年程度、子育て学習会を実施してい ます。今後も情報提供の機会を設けてい きます。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。 | 19 | | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 19 | | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 19 | | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 16 | 2 | | 1 | | 今後も、保護者会や三二交流会の開催、 情報提供の機会の充実を図り、ご家族全 体への支援の強化に努めてまいります。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 18 | 1 | | | 相談しやすい環境づくりを継続し、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 分かりやすい情報発信を行い、保護者との円滑なコミュニケーションを図ってまいります。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 19 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 18 | | | 1 | 個人情報の管理体制について再確認を行い、職員への周知徹底と適切な取扱いの強化に努めてまいります。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 19 | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 19 | | | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 19 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 事故発生時には迅速な連絡と丁寧な説明を徹底し、再発防止に努めてまいります。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 18 | 1 | | | 安心して通所できる環境の維持・向上に努めてまいります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 17 | 2 | | | 子どもが楽しみながら通所できるよう、興味関心に応じた活動の充実を図ってまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 18 | 1 | | | ・いつもていねいな指導をして頂き感謝しています。 ・子も親も大変満足しています。 温かいお言葉をいただき、職員一同心より励みになります。現状に満足することなく、今後もお子様の成長に寄り添った丁寧な支援に邁進してまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 子ども支援室みらい花立教室 | | | | 公表日 | 令和8年3月27日 |
|---------|----|--|----|-----|--|---------------------------|-----------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | ○ | 活動スペースの構造化や視覚的な情報伝達をするなどの工夫はしているが、建物の構造上バリアフリー化はされていない。(階段に手すりは設置している) | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 物の整理整頓に心掛け、毎日活動場所の掃除や消毒を実施している。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 個別での対応や相談対応時、体調不良時には面談室を使用するなど、本人に配慮した環境を整えている。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 支援翌日の昼礼にて前日の振り返りを行っている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 活動の様子を写真で送ったり、ホームページにて活動の様子を載せている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 第三者による外部評価は現在のところ実施していない。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 研修年間計画に沿って職員研修を開催している。 | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | ホームページにて公表している。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | Vineland-II(適応行動尺度)を用いてアセスメントを行っている。また、保護者との面談を行いサービス計画を作成している。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 支援記録に個別支援計画を挟み、計画に沿った支援の提供を行っている。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | Vineland-II(適応行動尺度)を用いてアセスメントを行っている。その他、言語聴覚士による発達検査(WISC-5)を実施している。 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|--|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成し、プログラムにも個別活動と集団活動を取り入れている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 朝礼・昼礼にて打ち合わせと役割分担の確認を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援翌日の昼礼にて前日の振り返りを行い、気づきの共有を行っている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 利用があった日には支援の内容と結果を記入し、必ず支援の記録を残している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 6か月に1回のモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 自立を目指し、「4つの基本活動」を取り入れた活動を行っている。 | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 選択肢の提示を行い、自己決定を引き出すようにしている。 | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | | 利用されている方が小学校高学年・中学生・高校生の方ばかりなので、就学前の園や児童発達支援事業所との情報共有はできていない。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 高校卒業を機に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、これまでの支援内容や特性についての情報を提供している。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 施設内に留まらない活動を通じて、お子様が社会の多様な人々と触れ合う機会を創出し、地域社会全体で育ちを支えるインクルージョンの取り組みを推進する。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 熊本市自立支援協議会こども部会に参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 年4回の子育て学習会を開催している。当日参加できなかった方にもラインにて学習会の内容をまとめたものを配信している。 | | |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | | |
| 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | | |
| 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 4回/年程度、子育て学習会を開催している。 | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 2か月に1回事業所の活動の様子をブログに掲載している。また、活動の様子の写真を保護者に送っている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | 地域住民に事業所の役割を正しく知っていただくことで、お子様たちが地域で温かく見守られる環境を作り、地域貢献の一翼を担う事業所を目指す。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 各種訓練は年間計画に沿って実施している。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 業務継続計画（BCP）を策定し、研修・訓練等を実施している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | ○ | | 今後アレルギーをお持ちのお子様をお預かりする際には、必ず医師の指示書（生活管理指導表等）の提出を求め、それに基づいた厳格な除去対応や誤食防止策を徹底する。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 安全計画を作成し研修・訓練等を実施している。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 安全計画に沿って訓練や指導を実施し、その様子をホームページやお便りにて保護者に周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 2回/年、研修を実施している。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 必要と思われる方には身体拘束に関する個別支援計画を作成し、説明の上、同意をいただいている。 | | |